

ごみ収集の変遷について 考えてみよう！ 香川ごみ通信15

前回に引き続き、「ごみ収集を
考えてみよう」です。

茅ヶ崎市のごみ集積所の総数は、
燃やせるごみ置き場8、600カ
所、資源物置き場7、450カ所
に及んでいます。

当香川地区のごみ集積所（ごみ
置場）は、主に「燃やせるごみ置
場」と「燃やせないごみ置場・資源
物置場」に分けられてごみ集積所
となっています。

「ごみ集積所」の設置基準は、
「燃やせるごみ置場」8世帯に1カ所
「資源物置場」30世帯に1カ所
の設置が原則です。

また、何処でも設置できる訳で
はありません。実際には、自治会
が場所を考慮の上、申請をして許
可されています。

■ごみ集積所について再度考えて
みましょう。

◎現在利用中の「ごみ集積所」は、
駐車場脇や家の塀など所有者の
方々の深いご理解によって利用さ
せていただいています。

そのために、利用者の方々は是
非感謝の気持ちと、いつもルール
を守りきれいに置かせていただき
配慮と行動をお願い致します。

◎ルールを守っていただくために、
大多数の地域では、ごみ当番制な
どを決めて置場の設置（改善）や
清掃、片付けなど行っています。

しかし、まだ一部の方に任せつ
ぱなしの地域も見られますので、
利用されている方々が一堂に会し
て井戸端会議ならぬごみ置場会議
などを行って、当番制などのル―

ルを決めるよう是非ともお願い致
します。
「ごみ集積所」の場所の確保や
管理は、利用者の役割です。
ごみ集積所を「護美集積所」に
なるよう皆さんで努力いたしま
しょう！

環境部会はそのお手伝いを致しま
すのでご相談ください。
(環境部会)



カラスに荒らされた例

AED 防災部会主催 AED講習会開催

平成29年12月9日（土）自治会
館において防災部会主催で茅ヶ崎
市消防署・消防指導課による救命
法の講習会が実施されました。毎
年実施している講習会で、自治会
館にも常設されているAEDの講
習が目玉となっています。

今回は、一グループ6人、4つ
のグループが3時間の普通救命法
を受講しました。

心肺蘇生法（胸骨圧迫や人工呼
吸）、AEDの取扱い、大出血を
止める止血法、異物除去法などを
講話や実技を交えて分かり易く指
導していただきました。



今回は、実際の状況に近い形と
して二人一組でAEDを取り扱う



救命措置の実習となりました。
講習の最後に、講評と共に参加
者に普通救命講習の修了証が手渡
されました。

NEWS 最近の自治会活動から

平成29年度防災資機材の購入

①カセットガス式ポータブル発電
機（ホンダ製） 各町内会1台

③LED投光器+三脚
各町内会 2セット



②カセットガストーブ
（コンロ兼用）
各町内会 2個



④非常食
乾パン60食×1箱
ビスケット60食×1箱
水500ml×24本×5箱
各防災拠点+本部

⑤その他
(1)折りたたみ式防災リヤカー
第一町内会用 二台目
(2)ポトルクリッパー
第二町内会用 1個
購入には茅ヶ崎市の補助金と自
治会の防災予算を合わせ、約百万
円の計上を予定しています。

防災だより No.34

◆被災時の「自助」

被災時の行動を表すものに「自
助」「共助」「公助」という言葉が
ありますが、皆が「自助」出来な
ければ「共助」は成り立ちません。
このことから、いかに「自助」が
大切かお分かりいただけると思ひ
ます。

「自助」とは、自分並びに家族の
安全確保と生活維持です。具体的
には家屋の補強、家具の転倒や飛
散の防止、非常用備品、食料・水
の備蓄、非常持出品の準備、発生
時に自身や家族を守る方法の確認
確保、火災発生防止、脱出経路の
確認確保、その後、避難するかの

状況判断、避難場所・避難所の確
認確保、などなど沢山あります。
ご家庭の状況により、やるべき
こと、出来ることは様々でしょう
が、諦めず、出来ることからこつ
こつやりましょう。
(防災部会・加藤)

「救助される人」でなく、
「救助する人」になること。
それが「自助」の取り組
みの大事なポイントです。

地域の 防災力



第5回香川自治会自主防災会開催
11月の定例役員会に引き続き
自主防災組織の強化と避難行動要
支援者に対する対応について会議
の開催を決定しました。
防災リーダー会議の開催
11月23日に参加者18名で、防災
リーダーの確認と町内会との関係
について意見交換を行いました。
引き続き民生員を含めた15名
の参加のもと、避難行動要支援者
の対応についての会議を開催しま
した。
平成30年度歌体操教室について
12月の定例役員会の冒頭、高齢
福祉介護課より香川自治会館を使
用した歌体操教室の開催について
要請がありました。
日程 平成30年6月より3月まで
毎月第一・第三木曜日
時間 10時～11時
定員 20名
あわせて体操を指導するボラン
ティア募集の説明がありましたが、
福祉についての活動は湘北社会福
祉協議会を窓口とすることとなり
ました。
香川環境展アンケート結果
環境部会が香川秋まつりに合わ
せて開催した、環境ミニ展時に実
施した延べ約百名の参加者アンケ
ートの結果から、ミニ展の高い評
価と分別の意識が高いことがわか
りました。
●性別 男性25%、女性75%
●年齢 60歳以上64%、50代16%、
40代以下20%
●乾くと素焼きのような風合いに
なる不思議な燃やすことが出来る
粘土・もく粘土の体験コーナーが好
評でした。
●ごみの出し方のわからない方が
おられたので、張り紙をしたら良
くなったという意見が寄せられま
した。